

水の館プラネタリウム

定 時
上 映

7月17日(土)～10月10日(日)の土日祝

テーマ番組「天の川の見える空 ～カッパさんと白鳥さん～」

手賀沼で夜空を見上げるのが大好きなカッパさん。そして旅の途中で降り立った白鳥さん。ふたりが眺める美しい星空には天の川も見えています。天の川ってなんなんだろう・・・寄り添いながら語り合うふたりのお話です。



星空解説「今夜、なにがみえるかな」2021夏

夏の夜風に吹かれながら眺める星空は格別です。七夕伝説で有名な織姫星と彦星。天の川の真ん中にはくちよう座。そして両側にこと座やわし座。さらにギリシャ神話で有名なさそり座。この季節も様々な星座が夜空を彩ります。そんな星々や星座を紹介します。

上映時刻	10時	11時	13時	14時	15時	16時
テーマ番組	○		○		○★	
星空解説		○		○★		○

※夏休み中(7/26～8/31)は平日も★の時間に上映を行います。

・土日祝日の上映時刻は上記のとおり。テーマ番組、星空解説ともに約15分間。
・平日は団体予約のみ上映。(2日前迄に要予約。ただし、年末年始を除く)

定 員：各回先着25名(上映1時間前から発券。席の間隔を空けてご案内します)
費 用：高校生以上100円(中学生以下無料)

※新型コロナウイルス感染対策として定員50人を25人に減じています。
また、マスクの着用・手指の消毒・連絡先の記入などにご協力をいただいております。

8
7(土)

プラネタリウム星空コンサート

「松田聖子 特集」

1980年「裸足の季節」でデビューし、数々のヒット曲でお馴染みの松田聖子さん。星空の下、透明感ある歌声をお楽しみください。

日 時：8月7日(土)①13:00～ ②15:00～

※上映1時間前から発券開始

場 所：水の館3階 手賀沼課事務室前

解 説：駒井仁南子さん

費 用：1席300円

定 員：各回当日先着25人

※当日、定時上映は行いません。

8
7(土)

星空たんけん観望会

「夏の大三角形と星空を ハイアマチュア望遠鏡でみよう！」

性能が優れた望遠鏡で夏の星空を観察します。普段は見えない星を見ることができるかも！？
※雨天・曇天の場合、星空観望会は中止。プラネタリウムで番組を鑑賞します。

日 時：8月7日(土) 19:45～20:45 (19時半より受付)

定 員：先着25名

※小学生以下は保護者同伴

費 用：100円(中学生以下は無料)

持 物：懐中電灯(赤色灯推奨)

申 込：8月6日(金)までに水の館(7184-0555)

※受付は7月16日(金)から

プラネタリウム、上記イベントのお問い合わせ：手賀沼親水広場 水の館 TEL:04-7184-0555 FAX:04-7185-5869

夏休みの環境学習

手賀沼周辺イベント情報

船から見る手賀沼のふしぎ(船上学習)

日 時：7月28日(水)9:15～10:30

場 所：手賀沼公園「ボートセンター小池」前集合

対 象：小学生(3年生以下保護者同伴)

先着申込30人(1組3人まで)

費 用：無料

持ち物：マスク、筆記用具、飲み物

申 込：7月26日(月)まで ※受付は7月16日(金)から

カヌー体験in手賀沼！

日 時：8月22日(日)① 9:00 ② 10:00 ③ 11:00(各回45分程度)

場 所：手賀沼親水広場(集合場所：水の館3階)

対 象：小学4年生以上

各回1人乗り3名・2人乗り3組(家族での同乗のみ)

費 用：100円(保険料)

持ち物：マスク、水にぬれてもよい服、タオル、着替え、飲み物、帽子

申 込：8月17日(火)まで ※受付は7月16日(金)から

プランクトンをつかまえて顕微鏡で観察しよう！ 紙粘土で花瓶等を作ろう！～廃棄物利用で鳥や花を飾って～

日 時：8月11日(水) 12:30～16:30

8月20日(金) 12:30～16:30

場 所：水の館3階研修室

対 象：小学生(3年生以下保護者同伴) 各日20人

費 用：50円(保険料)

持ち物：マスク、筆記用具、帽子、タオル、飲み物、

持ち帰り用の袋(ビニール袋)

申 込：8月5日(木)まで ※受付は7月16日(金)から

日 時：8月12日(木)・8月19日(木) 9:30～11:30(全2回)

場 所：アビスタ工芸工作室

対 象：2日間参加できる小学生(3年生以下保護者同伴)

先着申込20人(1組3人まで)

費 用：無料

持ち物：マスク、エプロン、タオル、粘土用へら(お持ちの方)、

2回目を持ち帰り用の箱(段ボールなど)

申 込：8月5日(木)まで ※受付は7月16日(金)から

クリーン手賀沼推進協議会

「遊覧船で手賀沼について学ぼう！」

日 時：8月10日(火) ①10:30～11:30 ②13:30～14:30

8月24日(火) ①10:30～11:30 ②13:30～14:30

※雨天・強風の場合は中止

場 所：手賀沼公園内ボート乗り場「湖上園」前集合

対 象：どなたでも(小学生以下は保護者同伴)

定 員：30名(要申込)

費 用：無料

申 込：8月10日開催分は8月6日(金)までに

8月24日開催分は8月20日(金)までに手賀沼課にTEL。

※受付は8月2日(月)から

発行：我孫子市 環境経済部 手賀沼課 (手賀沼周辺イベントの受付)

〒270-1146千葉県我孫子市高野山新田193 TEL:04-7185-1484 FAX04-7185-5869

本誌掲載の情報は、2021年6月21日現在のものです。今後、新型コロナウイルス感染症等の影響などにより開催時期の変更、もしくは中止される場合があります。開催情報は、我孫子市ホームページでご確認ください。

～水の館プラネタリウムの番組と、この夏、我孫子で見られる星座の情報誌～



我孫子市マスコットキャラクター
手賀沼のうなぎちゃん

「水の館の上空を横切る国際宇宙ステーション(ISS)」うなあ！
下の条件がすべて合うときは、地上からもその姿を見ることができるうなあ。
1) 空が晴れている時
2) あなたの上空付近をISSが通過する時(右のQRコードを利用してね！)
3) あなたのいる場所は夜だけど、ISSは昼の時
みんなも見てみて欲しいうな！

引用：KIBO宇宙放送局ホームページより

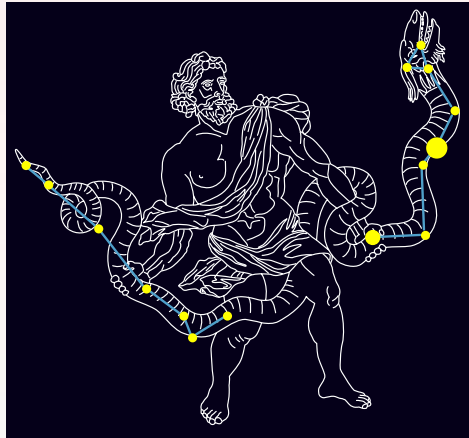


星座紹介コーナー ～星座の物語～

★夏の風変わりな星座達★

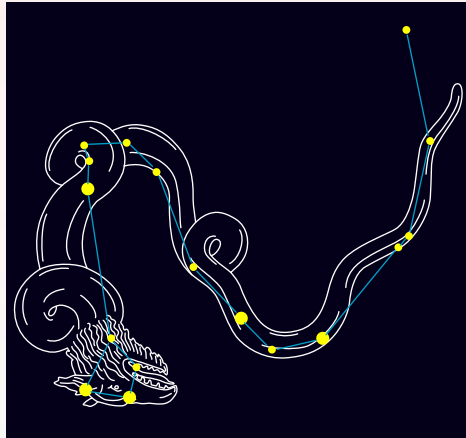
星占いで使われたり、ギリシャ神話で語られる星座の名前はよく耳にしますが、星空にはちょっと変わった星座がいくつもあります。夏の夜空に見られるそんな風変わりな星座を紹介します。

★へび座★



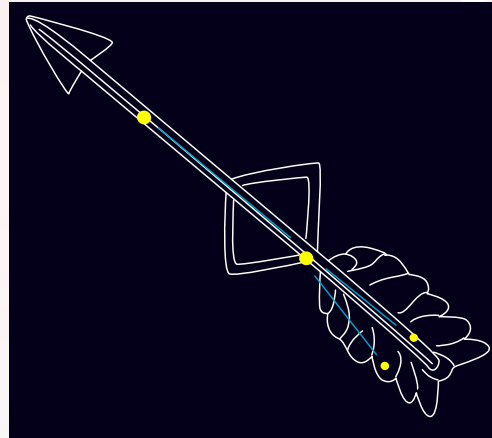
へびつかい座とほぼ一体化した星座です。へびつかい座のモデルは医術の神エスクレピオス。彼の神話が語られる一方でへびそのものを伝える話はあまり語られてきていません。へびつかい座とともに、プトレマイオス(トレミー)が定めた最も古い星座達のひとつです。

★りゅう座★



夏の夜空にはへびもいればりゅうもいるようです。このりゅうもプトレマイオス(トレミー)が定めた古い星座。ギリシャ神話では、かつて大神ゼウスと妻のヘラの大切な黄金のリングを守っていたりゅうとして語られています。頭部分の小さな四角形が特徴的な星座です。

★や座★



や座もプトレマイオス(トレミー)の設定した古い星座です。「や」とは、弓矢の矢の意味。愛の神キューピットが放つ矢も、このや座の矢で語られています。またヘラクレスが放った矢とも伝えられています。全天で3番目に小さな星座です。

私、クラウドイオス・プトレマイオスは、数学、天文学、占星学、音楽学、光学、地理学、地図製作学など幅広い分野にわたる業績を残した古代ローマの学者です。英称はトレミー (Ptolemy)。エジプトのアレクサンドリアで活躍したんですよ。

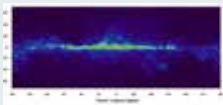


2021年夏の天文イベント ～星空を見上げてみよう～

日付	天文現象	説明
7月23日から7月27日	月が木星と土星に接近	月と惑星の接近は星の名前を覚えるチャンスです。東から昇ってくる月の近くに明るい星が二つ見えます。左側(東側)のより明るい星が「木星」。そして、右側(木星より南より)に見える星が「土星」です。また惑星は、きらきらと瞬きません。明るい恒星と惑星の区別は、瞬いているかどうかで判断することもできます。
8月12日から8月14日	ペルセウス座流星群	今年は好条件で観察することができます。8月12日の夜から13日、そして14日と3日間ほど見ることができますが、中でも13日の夜は遅くなるほどに多くの流星が期待できます。3夜とも21時以降、明け方まで。また東の方向から流れてくるので東を眺めるのが良いでしょう。※流星群の観察は空の一点を目をこらして見るより、広い範囲をぼんやり眺めるのがコツです
8月14日	旧暦の七夕	暦での7月7日。旧暦を使っていた時代はこの頃に七夕を祝っていました。今のカレンダーで7月7日は梅雨の時期で星空を見る機会が少ないのですが、かつては梅雨が明けた頃の行事で、星空を楽しみながら七夕の夜をむかえられたことでしょう。
8月20日	木星と土星が見頃	木星と土星が、それぞれ地球から見て太陽の反対側に見える時期をむかえます。この頃の木星はマイナス3等、土星は0等ととても明るく輝きます。また太陽が西に沈むと東から昇り、日の出の頃に西に沈むため、一晩中眺めることができます。
9月21日	中秋の名月	「中秋の名月」とは、明治5年までの長い期間使われていた太陰太陽暦の8月15日に見られる月のことです。太陰とは「月」のこと。昔は太陽の動きとともに月の満ち欠けで日にちを指定していました。月が暦の上でも大きな意味を持っていた為、月に関係したお祭りや行事も多く存在しています。この中秋の名月をめぐる風習は平安時代に中国から伝わったと言われています。

星空ギャラリー(水の館3F)～天の川と輝く星々～

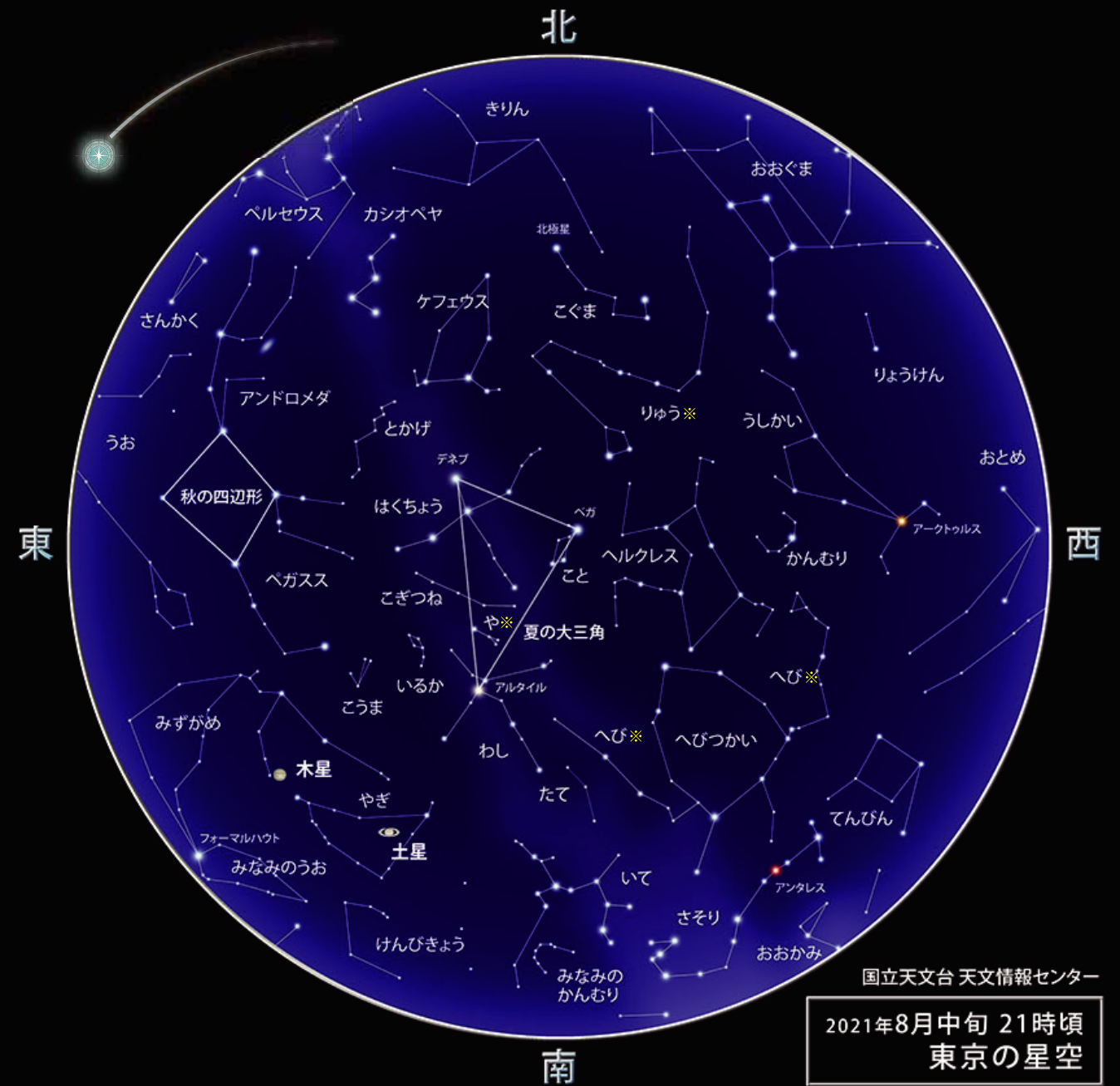
夏は天の川が見やすい季節です。かつて日本中の夜空で見ることができた天の川。街の明かりが増えるに従って見る機会が減ってきてしまいました。そんな天の川と、輝く星々について紹介します。また星の観察の仕方についても紹介します。



様々な姿の天の川▲



星空観察に役立つ道具▲



国立天文台 天文情報センター

2021年8月中旬 21時頃
東京の星空

星座紹介コーナーの星や星座には※マークが付いています。

天文ニュース ～国際宇宙ステーションに日本人飛行士～

2021年4月24日、星出彰彦宇宙飛行士が国際宇宙ステーション滞在を開始しました。この時、野口聡一宇宙飛行士も滞在しており、日本人が2名国際宇宙ステーションにいたこととなります。星出宇宙飛行士はこの後半年間ほど滞在を続けるとともに、ステーションの船長も務めることとなります。



Akihiko Hoshide



Soichi Noguchi



星空ミニクイズ ～流星群と関係が深い天体は？～

8月にはペルセウス座流星群があり、多くの流れ星を見ることができます。ところでこれら流星群と関係の深い天体はなんでしょう？

①小惑星



②彗星



③月



さて答えは？ 水の館3階のプラネタリウム横のスタンプコーナーで説明しています。

2021年度夏のスタンプ

スタンプをおしてみよう！
※スタンプはプラネタリウムの横にあるよ！